

## APDXC 2012

JA 3USA 島本正敬

2005年に初めて開催されたAPDXCも、今年で第4回目を迎えました。回を重ね参加者も徐々に増え、といたいところですが、今回のAPDXCに海外から参加したハムの数はこれまでで最も少ない人数となってしまいました。初夏の頃、参加申し込みはこれまでより順調な滑り出しで大いに期待をさせられたのですが、本番が近付くとキャンセルが相次ぎました。これまでは申し込みをしてからキャンセルという例が殆どありませんでしたから、準備をしてもだんだん力が入らなくなってきて、「今回が最後かも...」と落ち込んだいりました。そんな状況から、開催の数日前にはどんな雰囲気になるのだろうか、かなり心配をしていました。

開催前日、海外からの参加者がホテルに集まり始めました。2年ぶりに会う人、初めての顔に出会うと、それまでの心配も徐々にどこかに消え始めました。参加数は最小でしたが、アフリカからのXT2HB、中近東からのA61M等、過去には参加者が皆無だった地域からの来訪もあり、少しずつ雰囲気が盛り上がったからかもしれません。



11月2日 (金曜日)

APDXCのプログラムはいつもと同様、金曜日のIcomツアーでスタートします。これはDXからの参加者に限られたイベントですが、工場見学と本社でのHF機の開発担当者とのQ&Aが行われます。大阪市内からIcom有田工場、紀ノ川工場、本社と回ってI-Houseまでの長時間のバスの車中では賑やかなラグチュウが続きます。Icom本社では井上会長が玄関で参加者一人ずつを握手で出迎えられ、参加者は感激していました。

その日の夜は、JAからの参加者にとっての最初のプログラムとなる「ウェルカムパーティ」です。今回はいつものようなジャズバンドもありませんでしたから寂しくなるかも、との心配もありましたが、何故か今回初めてとなる自己紹介等で賑やかな話し声、笑い声が2時間以上続きました。





11月3日 (土曜日)

APDXC第2日目はバスツアーです。2005年と2008年の第一回、二回は京都と奈良への一般的な観光でしたが、普通の観光ではむずかしい何か特別なことができないうか、というDX参加者の提案から、前回2010年は宇治で「手もみの玉露づくり体験」を試みました。初めての経験をした上、自分で作った緑茶を持って帰れるということもあって大好評でしたので、今回も体験ツアー第2弾を用意することにしました。京都伏見の白壁土蔵が美しい酒蔵「月桂冠大倉記念館」を訪問、その後「山崎のサントリー蒸留所を見学するというのが目玉イベントです。全く種類の異なるお酒の製造見学でしたが、それにも増して、それぞれの場所での『試飲』が参加者の大きな楽しみとなったことは言うまでもありません。A61Mは回教徒であるため飲酒は全くできませんので、退屈しないかと心配していましたが、彼が楽しんで写真を撮っているのを見てホッとしました。その後、遅い昼食を済ませ、京都山科の清水焼団地を訪問して陶器づくりを体験しました。ただ残念だったのは、当日は文化の日(祝日)だったために、陶工たちの多い周辺の清水焼ギャラリーの大半が休んでいたことでした。



その日の夜はAPDXC恒例のDXディナーです。

国際交流センターの宴会の間、「さくら」でコース料理を楽しみ、それぞれのテーブルで楽しい会話がはずみます。第2回ではKL7YL、第3回ではDU6BGがちょうど誕生日を迎え全員で祝いました。誕生日の人が誰もいなかった今回は「誰が?」というゲームを行いました。例えば「誰が自宅から最も遠い旅をしてAPDXCに参加したか?」、「先週のCQ WWコンテストでのQSO数が最も多かった人は?」、「QSOしたDXCC数の最も多い人は誰?」などの問いに適合した人を見つけプレゼントが渡されます。それぞれ誰になるのか判明するまで、いろいろな声があちこちから飛んだりして、賑やかな楽しい1時間が流れました。最後はIcom提供の楽しいノベルティ抽選会で幕を閉じました。





11月4日 (日曜日)

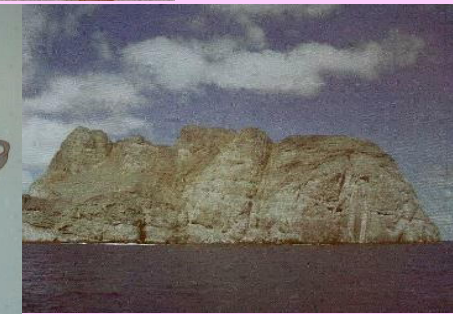
APDXC最後の日には終日プレゼンテーションが行われるのが通例です。今年も、多くの興味深いプレゼンテーションがありました。特に注目を集めたのはARRL アンテナブックの編集も手がけていたN6BV Dean Strawの講演かもしれません。アンテナの話、バンドコンディションについての話と二つの講演を提供してくれました。また、常連のW0GJ Glenn JohnsonはHKONAのDXペディションの話とは別に「3dBの増加は離婚に値する?」という講演があり参加者の笑いを集めました。APDXCのプレゼンテーションは、他では余り聞けない興味深い内容のものが多くあります。一人でも多くの方に聞いて頂ければと希望していますが、残念ながら参加者数は毎回微増です。英語だからと敬遠されているとも聞きますが、内容はハムの話ですし、いずれも映像を見ながらですから、英語が殆ど判らなくても楽しめる内容とのコメントを多くの参加者から聞いています。もしあなたがAPDXCプレゼンテーション未経験者なら、だまされたと思って次回のAPDXCプレゼンテーションに是非ご参加ください。必ず楽しんで頂けるものと思います。



**HF Propagation for Beginners  
(and Old Timers too)**  
Asia Pacific DX Convention  
Osaka, Japan  
Sunday, November 4, 2012  
By R. Dean Straw, N6BV  
Senior Assistant Technical Editor, ARRL (Retired)

**And Where Can You Get the  
N6BV Propagation Predictions?**

- The exclusive distributor is *Radio-Ware* (also known as *Radio Bookstore*).
- <http://www.radio-ware.com/>
- The price is \$30.
- Also see my webinar "Tactical Use of Propagation Predictions for HF Contesting" at: <http://nccc.cc/webinars.html>



今回APDXC 2012の準備中は、これが最後か?とも思ったこともありましたが、多くの方に楽しんで頂き、「次回も必ず来るよ」と帰って行かれるのを見るとまた次もやろうという気持ちが湧いてきます。そんな思いで、APDXC 2014の会場の予約を済ませてしまいました。



**How to get visitor license in UAE**

Ham Radio visitors are welcome in UAE

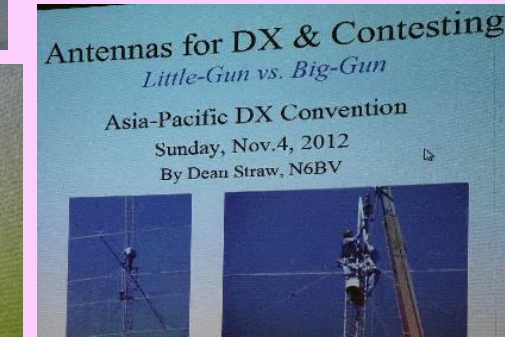
Our procedure as following

- Copy of passport & visa
- Copy of valid license
- Filling an application



**Cheating in the old days**

- Running more power than claimed
- Leaving duplicate QSOs in the log
- Rubber clocking
- Single-op assistance finding stations to work
  - Listening to local DX club 2m repeater
  - Get mults to work you by calling them IDD
- Unverifiable contacts
  - Few logs cross-checked - mistakes, padding... all unlikely to be found



編集にはAPDXC2012 Galleryの写真を使わせていただきました。 JA3AOP

# 第40回SEANETコンベンション in KL参加記

(来年は横浜で開催予定)

JA3AER 荒川泰蔵

マレーシアの首都KLのDynasty Hotelを会場に、2012年11月23日から5日間、MARES (Malaysian Amateur Radio Emergency Service Society) が主催して開かれた、第40回SEANETコンベンションに参加したので報告します。1971年にペナンから始まったSEANETコンベンションは40回目を迎えますが、この内の10回がマレーシアで開催されたこととなります。しかし、ここ首都クアラルンプールでの開催は第5回の1975年以来ですから37年ぶりです。私は1977年にタイのバンコクで開かれた第7回が最初の参加ですからそれ以前のことになります。東南アジアには1967年から1979年まで仕事で駐在し、KLでは1969年に9M2BLの予備免許を貰ったのですが、そのころ頃お世話になった9M2の方々には会うことは出来ませんでした。もう43年も前の事ですから世代が代わって当然でしょう

今回の参加者は130名余り 海外からは18ヶ国約90名で、内JAからは22名でしたが、我々のラジオクラブからの参加はJR3MVF三好さん、JE3BEQ宮本さん、それに私の3人だけでした。宮本さんは一足先に、オーストラリアに寄ってKLに入られたので、11月23日に関西空港から出発したのは、三好さんと私の他、沖縄からのJR6X1W, JR6X1X内山ご夫妻、広島からのJA4DPL吉房さんの5名でした。夕刻到着したKL国際空港には9W2FD, AzizulさんやSWM, Ammarさん達が迎えに来てくれていて(写真1)先に到着されたJA4DND松浦さんや、後で到着したV85BA, Abuさん達ブルネイからの団体と共にマイクロバスで会場のDynastyホテルに向かいました。

交通渋滞もあって遅れたため、ホテルでチェックインした時は歓迎夕食会(写真2)が既に始まっており我々は遅れての参加でした。会場では食事を終えたばかりのBA4AA, Xu Ruさんが出迎えてくれました(写真3及び4)。食事の後、早速9M2KRZ, Khairulさん達に最上階(30階)に設置された特別局9M4SEAに案内して頂き、21MHzでYB2の局と交信しました(写真5)が、そのほかは全く聞こえず、CQを出してもどこからも呼ばれませんでした。

翌朝、外からホテルを見ると、周辺ではずば抜けて高いビルです(写真6)。この屋上に設置したアンテナで飛ばないはずはないと JA4DPL吉房さんが日本から持参したアンテナ・アナライザCAA-500を使ってトライバンドHB9CVアンテナを調整し、G5RVアンテナを7MHz用のダブルレット・アンテナに取り換えた(写真7)ことで、その後の交信が容易になり参加者から喜ばれました(写真8)。シャックの横にはハリクラフターを含む歴代の無線機が展示されていて、後ろの壁には来年の横浜でのコンベンションのポスターが貼られていました(写真9)。



写真 1, 3  
2



写真 4, 5



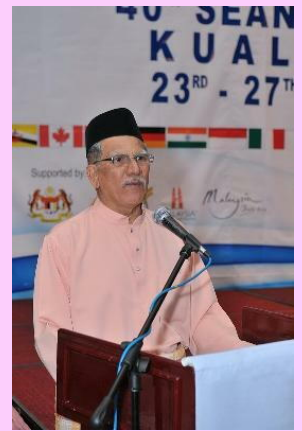
写真 8, 6  
9, 7



2日目(土)は終日セミナー & ワークショップが、9W2FD, Azizulさん(写真10)の絶妙な司会により G3ZC, Joeさん(写真11)達によって、興味深い17件のプレゼンテーションが行われました。そして、2013年10月に横浜で開かれるSEANETコンベンションのPRを、JA1BRK米村さんが、JA1RJU小笠原さんやJA4DND松原さん達と共に壇上にあがり スライドを用いて紹介しました(写真12)。

コンベンションのハイライトであるガラ・ディナー(Gala Dinner)は、代表者である9M2RS, Rashidさん(写真13)の挨拶から始まり 今回のコンベンションの準備中に亡くなられた9W2TLH, Azmanさんの他、JA3AA島さんなどこの1年間に亡くなられたメンバーのために全員で黙祷をしました(写真14)、円形のテーブルで歓談しながらのディナー(写真15 & 16)ですが、舞台では民族ダンスのショーで歓迎してくれました(写真17)、ディナーが一段落したところで、SEANETコンテストの表彰式が行われ、各部門の1位が表彰されました。シングルOP部門の優勝者9M2/ JE1SCJは出席しておらず、JA1BRK米村さんが代行して楯を受け取りました(写真18)。私はJAとしてはトップだったのですが、全体では8位で、残念ながら参加賞もありませんでしたHi。続いて、主催者側から記念品が各国に送られることになり JAは私が代表して受け取らせて頂きました(写真19)。そして各国から主催者側への記念品の贈呈も行われましたが、JAからはJA4DPL吉房さんが個人として、アンテナ・アナライザーを贈りました(写真20)。

その後、最終日に予定していた2014年の開催地を決める投票が行われました。インドネシアのバリと、フィリピンのマニラが候補にあがり 投票の結果バリに決まり YB0KVN, Triadiさんが挨拶を行いました(写真21)。横浜の次はバリ島です。恒例の各国の出し物は、J3BEQ宮本さんの指揮で、日本人全員が壇上にあがり日本の民謡などを披露しました(写真22)。また、それに続いてJA9AG吉井さんが剣舞を演じました。終了後全員のグループ写真撮影が行われ(写真23)、長い一日が終わりました。



10 写真  
11 13  
12  
14



写真  
15,16



写真 17,18,19,20



写真  
21, 22





写真  
23

24,25

3日目(日)のプログラムは終日KL市内観光となっており、皆さんバスに同乗してマレーシア特産の錫の工芸品工場、新しい王宮、ツインタワーなど観光名所を巡ったようですが、私は久しぶりにシャープの現地社員と会って、市内のセントラル・マーケットを見学、昔の風情を残す中華街を散策しました。

午後は旧友の9M2BZ鶴岡さんがホテルまで迎えに来てくれ、日本クラブのクラブ局9M2JKLを訪問しました。ちょうどCQ WWコンテストに参加中の9M2BDX宮原さん、JA7LMU/NY9I木村さん、JM1EDS山崎さん、HB9EBH、Laubさん達ともアイボールQSOをすることが出来ました(写真24 & 25)。

その後、市内観光を終えて帰って来た一行に合流してバスに乗り込み、新しい官庁街を見学の後、レストランでの夕食会に参加しました。生演奏の音楽を楽しみながらバイキングスタイルの夕食でしたが、ここで次回の横浜へと、9M2RS、RashidさんからJA1BRK米村さんにSEANET旗が託されました(写真26)。ここでの食事にはビールも出て、生演奏の音楽に合わせて皆が踊りました(写真27)。

4日目(月)はKL国際空港の管制室見学(写真28~30)でした。管制室もフラッシュを使わなければ写真撮影もOKとオープンであることに驚きました。その後は、たまたまこの期間に開かれていた農産物博覧会を見学し、夕食は日本の寄せ鍋のような、スチームボールで、海鮮物の料理を楽しみました。

5日目(火)の最終日は、閉会式を兼ねてSEANET旗の引継ぎ式がある予定でしたが、既に2日目に終えていたので、午前中は思い思いに過ごし、最後のお別れの昼食会でお互いに再会を約して別れました。午後は空港へのバスが用意されていましたが、私はシャープのサービス代行店を営んでいた家族の案内で、彼らの事業所を見学させて頂き、夕食後、双子の幼児のいる家庭を訪問させて頂きました。彼らの事業の苦労話を聞きながら、よく頑張っていると感しましたが、これら若い人たちの活力がマレーシアを支え、発展を続けているのだと思えました。



写真 26, 27

28  
写真 29, 30



注:写真はMARESから提供されたもの及びJA4DPL吉房さんから頂いたものを含んでいます。

